

教員詳細情報

九州看護福祉大学

氏名	吉里雄伸
連絡先メールアドレス	y-yoshizato@kyushu-ns.ac.jp
役職・職名	助教
所属	リハビリテーション学科
略歴	<p>【学歴】</p> <p>2011年 九州看護福祉大学 看護福祉学部 リハビリテーション学科卒業</p> <p>2017年 九州看護福祉大学大学院 看護福祉学研究科 修士課程 入学</p> <p>2020年 九州看護福祉大学大学院 看護福祉学研究科 修士課程 修了</p> <p>2021年 九州工業大学 生命体工学研究科 博士後期課程 入学</p> <p>2024年 九州工業大学 生命体工学研究科 博士後期課程 修了</p> <p>【職歴】</p> <p>2011年 医療法人 社団慶仁会 川崎病院</p> <p>2020年 九州看護福祉大学看護福祉学部リハビリテーション学科 助教</p>
取得学位	修士（健康科学）
担当科目	リハビリテーション医学Ⅰ、運動器理学療法学、運動器理学療法学演習Ⅰ、運動器理学療法学演習Ⅱ、運動器理学療法学特講、理学療法評価学Ⅰ、理学療法評価学Ⅱ、理学療法評価学Ⅲ、理学療法評価学演習、スポーツ理学療法学
専門分野	運動器系理学療法学，スポーツ理学療法学
所属学会	<p>一般社団法人日本基礎理学療法学会</p> <p>一般社団法人日本運動器理学療法学会</p> <p>一般社団法人日本支援工学理学療法学会</p> <p>一般社団法人日本小児理学療法学会</p> <p>一般社団法人日本スポーツ理学療法学会</p> <p>一般社団法人日本地域理学療法学会</p> <p>一般社団法人日本予防理学療法学会</p> <p>一般社団法人日本理学療法教育学会</p> <p>日本ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法研究会</p> <p>一般社団法人日本栄養・嚥下理学療法学会</p> <p>日本筋骨格系徒手理学療法研究会</p> <p>日本物理療法研究会</p> <p>公益社団法人 計測自動制御学会</p> <p>公益社団法人 日本生体医工学会</p>
現在の研究テーマ	子どもの運動発達・運動能力と運動器障害について
教育研究業績 (著書・学術論文等)	<p>1. 吉里雄伸, 浅山勲, 稗田寛: 人工股関節全置換術後のスポーツ活動に関する調査. Hip Joint, 40: 303 - 305, 2014.</p> <p>2. 原野達也, 二宮省悟, 田島慎也, 西原翔太, 吉里雄伸, 石塚利光, 松山裕: ストレッチポールひめトレを用いたトレーニングが身体に及ぼす</p>

	<p>影響 - 側腹筋厚・股関節内転筋力に着目して - . 理学療法科学, 33 (2) : 289 - 293, 2018.</p> <p>3. 二宮省悟, 田島慎也, 原野達也, 西原翔太, <u>吉里雄伸</u>, 森本将司: Kinectによる動作時膝関節屈曲角度測定の相対信頼性と絶対信頼性の検討. 九州看護福祉大学紀要, 21(1) : 3 - 10, 2020.</p> <p>4. 原野達也, 田島慎也, 西原翔太, <u>吉里雄伸</u>, 森本将司, 松下大輝, 木村倅晴, 二宮省悟: 異なる座位姿勢の保持が腰部多裂筋の筋厚・筋硬度に与える影響 - クロスオーバー比較試験による検討 - . 理学療法科学, 36 (3) : 331 - 335, 2021.</p> <p>5. 岡田裕隆, 中野聡太, <u>吉里雄伸</u>, 肥後成美: 超音波診断装置を用いた講義の効果的導入時期の検討: 理解度アンケート結果の報告. 九州看護福祉大学紀要, 22(1) : 92 - 96, 2022.</p> <p>6. M. Sumizono, <u>Y. Yoshizato</u>, R. Yamamoto, T. Imai, A. Tani, K. Nakanishi, T. Nakakogawa, T. Matsuoka, R. Matsuzaki, T. Tanaka, H. Sakakima : Mechanisms of neuropathic pain and pain-relieving effects of exercise therapy in a rat neuropathic pain model. Journal of Pain Research, 15 : 1925 - 1938, 2022.</p> <p>7. <u>Y. Yoshizato</u>, K. Natsume : Factors in development of low back pain during anteflexion in children identified by a multiple logistic regression model. SICE Journal of Control, Measurement, and System Integration, 16(1) : 227-236, 2023.</p> <p>8. R. Yamamoto, <u>Y. Yoshizato</u>, T. Imai, K. Akizuki : Effect of the post-learning period on the accuracy and self-efficacy of measuring the joint range of motion. The Journal of Physical Therapy Science, 35(10) : 708-713, 2023.</p> <p>9. <u>Y. Yoshizato</u>, K. Natsume: Using multiple logistic regression analysis and random forest models to identify factors in the development of low back pain during postflexion in children. Advanced Biomedical Engineering, 13 : 197-204, 2024.</p>
<p>関連業績 (受賞歴・科研費・特許等)</p>	<p>【科研費】</p> <p>1. 2020年(研究活動スタート支援)(課題番号: 20K23308) 運動が不器用な子どもの身体機能の特徴・腰痛との関係を探る 研究代表者: 吉里雄伸</p> <p>【その他外部競争資金】</p> <p>1. 日本私立学校振興・共済事業団 若手研究者奨励金 小児前・後屈時腰痛発症の予測モデル構築に向けた基盤的な研究 研究代表者: 吉里雄伸</p>

2024年4月1日現在

社会活動・社会貢献	2016－2024年 熊本県選抜男子バレーボールチームトレーナー（中学生） 2016－2021年 福岡県選抜男子フットサルチームトレーナー（社会人）
-----------	---